



TITLE:

和歌山県白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所構内で初めて遭遇したニホンテン

AUTHOR(S):

久保田, 信

---

CITATION:

久保田, 信. 和歌山県白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所構内で初めて遭遇したニホンテン. くろしお 2016, 35: 15-15

ISSUE DATE:

2016-10

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/216946>

RIGHT:

© 南紀生物同好会

## 和歌山県白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所構内で 初めて遭遇したニホンテン

Shin Kubota : Japanese marten *Martes melampus melampus* that encountered for the first time in the campus of the Seto Marine Biological Laboratory, Kyoto University in Shirahama Town, Wakayama Prefecture, Japan

久保田 信

和歌山県白浜町において、ニホンテン *Martes melampus melampus* の事故死の報告（久保田, 2006）に加え、自然に生きるニホンテンが番所山に生息しているのを記録した（久保田, 2011）。今回、筆者が過去23年間勤務している京都大学瀬戸臨海実験所の構内で、ニホンテンに初めて遭遇したので報告する。



図 1



図 2

瀬戸臨海実験所構内にある研究棟の入口付近で、2016年7月5日19時2分、まだ暗くならない時間帯にニホンテンに偶然に遭遇した。研究棟の北側の入口のすぐ西側の梁に、1個体が座っていた（図1）。数分間、その写真や動画の撮影ができた。その後、ニホンテンは研究棟の北側にある小道を横断し（図2）、茂みに姿を隠した。しかし、茂みからまた道を横切って研究棟側に戻った。その直後、再び道を横切り、また茂みに入った。それからすぐ、茂みから姿を瞬時的に見せたが、それきり茂みに入りこみ姿を見せなくなった。

以前、瀬戸臨海実験所のすぐ西側に位置する番所山で、複数のニホンテンに遭遇した時、ニホンテンは夜間から早朝まで活動する夜行性を示した（久保田, 2011）。今回の状況は、そのような行動に入ろうとしている矢先だったのかもしれない。

### 引用文献

- 久保田 信, 2006 : 和歌山県白浜町の海岸道路で最近事故死したニホンテン. くろしお, (25), 15.
- , 2011 : 和歌山県白浜町番所山のニホンテン. くろしお, (30), 24-25.

図1・2 和歌山県白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所構内の研究棟北側で、建物の梁に座ったり（1）、道をすばやく横切って茂みに移動中（2）のニホンテン

（〒649-2211 西牟婁郡白浜町459）  
京都大学フィールド科学教育研究センター  
瀬戸臨海実験所